

立志だより



立志・自主・勤勉

与那原町立与那原中学校
校長 垣花英正

新任紹介

10月21日(木)より、新しいALTとして、アナ先生が着任しました。

アメリカのインディアナ州出身で、日本語も勉強中でちょっとだけしゃべれるそうです。よろしくお願いします。



一人一授業

10月13日(水)の1校時、1年5、6、7組女子体育の公開授業がありました。指導者は、新垣美野先生と大城椎菜先生で、めあては「最後の規定ダンスを覚える」「タブレットで自分たちのダンスを観て課題解決をする」です。

ウォーミングアップにダンスの動きを取り入れ、各グループ毎に踊ります。次にめあてを共有し、規定のダンスの動画を見て確認しました。そして、各グループでキャプテンを中心に話し合い活動を行い、規定のダンスの練習をしました。

次は、オリジナルパートのダンスを各グループタブレットで撮影し、それを観て改善点などを話し合い、ダンスを仕上げようと各グループ活発に練習しました。

授業の終末は、各グループで振り返りを行い、発表しました。話し合い活動、発表、タブレットの活用があり、めあてに沿った授業でした。



生徒会の交流学習

10月15日(金)の放課後、本校の生徒会役員と糸満市の西崎中学校の生徒会役員が、オンラインで交流しました。

西崎中学校の生徒会は、LGBTQや校則について、生徒会が活発に活動しているとの新聞記事が時々あります。そこで、西崎中と意見交換することにより、与中の生徒会活動に良い影響を受けるだろうということで今回の交流会が実現しまし

た。生徒会役員の感想を紹介します。

伊佐美晴さん

他の中学校の生徒会活動のことを聞く機会はありませんでしたので良い機会となりました。

もっと与中は生徒会が主体となって動けたら今までよりもっと良い生徒会活動ができると思った。これから行われる総合文化発表会で生徒会が企画したことをできたらいいなと思ったし、やってみたいと思った。この交流会を生かしてより良い活動ができればいいなと思った。

加藤海夏人さん

今回の交流会では、スムーズに進行することができ、以前よりコンピュータを使用している生徒会活動が盛んになっていることが実感できました。西崎中学校は、LGBTQの方にも考慮しており、与那原中より民主的だと感じました。今回の意見交流で学んだことをお互いに活かし、もっと活発な学校づくりを目指して様々な学校と交流する機会をこれからも設けていきたい。

古市優那さん

与那原と西崎を比べて気づいたことは、与那原はSDGsの活動を積極的に行っている方だということ、西崎は生徒一人一人が主体的に動いているなと思ったことです。西崎から学んだことは、スポレクのやり方がコロナの対策もしながら、生徒が楽しめる方法でやっていて参考にしたいと思いました。規則を変えると、一人の意見でもみんなでしっかり話し合って、実際に行動に移しているすごいなと思ったことです。やりたいことは、総合文化発表会で生徒会で何か取り組みたいことと、校則で気になるところを変えたいです。



地区駅伝 男子県大会出場！

10月23日(土)、今年度の島尻地区中学校駅伝競走大会が西崎陸上競技場で行われ、男子4位、女子7位となり、男子が11月20日(金)に糸満市の平和創造の森公園で行われる県大会へ出場することになりました。男子が県大会に出場するのは14年ぶりです。また、2年生の豊島りこさんが女子の2区で区間3位と健闘しました。

今年度は部活動停止期間が長く、十分な練習ができなかったこともありましたが、みんなよく頑張りました。

